

技術士業務研究会／2021年（令和3年）9月度例会

☆開催日時：2021年（令和3年）9月10日（金） 19:00～21:30

☆開催場所：ZOOM を使った Web 例会につき、各自の PC 等でご参加願います

・開会挨拶（19:00～19:05） 部会長 細谷 陽三（金属）

・講演 1 （19:05～20:10）（講演 50 分、質疑応答 15 分）

『 金融工学入門 ～なぜ金融は工学と結びついたのか～ 』

技術士（経営工学部門）越知 渉 氏

【概要】

私たちが金融と無関係にビジネスを行うことは非常に難しく、また、私生活においても色々なところで金融と結びついています。この金融との関係は、2000 年前後から変化し、現在では、多様な資金調達が可能となり、様々な金融商品を選択することが可能となっています。

これは、1950 年代以降に金融工学という分野での学術研究が進み、金融機関がこれらを実務に取り込んだことによって生み出されたことによるところが大きいと考えられています。

そこで、この金融工学というものがどのようにして生まれ、発展してきたのかを知っていただくこと、そして、金融工学と中でも最も有名で難解と言われるモデルの 1 つであるブラックショールズモデル（オプション理論）に興味を持っていただくことが本講演の目的です。

・講演 2 （20:15～21:20）（講演 50 分、質疑応答 15 分）

『 試験分析技術の紹介 』

技術士（金属部門）千原 易 氏

【概要】

私が在籍している日鉄テクノロジー(株)の試験分析技術を紹介します。

弊社での主な業務内容は、①材料評価・分析、②環境ソリューション、③計測・検査ソリューション、④省エネソリューションですが、本講演では私が担当している①材料評価・分析業務のうち、(a)機械試験、(b)金相試験、(c)物理試験の 3 種類についての試験分析技術を紹介します。

(a)機械試験について、引張試験、硬さ試験、衝撃試験の意味や原理、試験結果例などを具体的に説明します。

(b)金相試験について、光学顕微鏡と電子顕微鏡の意味や原理、試験結果例などを説明します。

(c)物理試験について、電子線マイクロアナライザーの意味や原理、試験結果例を説明します。

また、私が在籍している関西事業所以外で実施している、高度・特殊な試験分析を少しばかり紹介します。

・業務研究会連絡事項

☆Zoom による Web 例会参加方法

①「Zoom」アプリをインストールしているカメラ・マイク・スピーカー付の PC またはスマホ・タブレットをご準備ください。

②参加者に事前に送付する招待メールにある「長い URL」をクリックすれば、会議に参加できます。

◇講演会参加費 会員：無料 非会員：500 円 パスポート保持者：無料

例会後に請求書（振込先・振込方法を記載）を送付いたします。
支払期限：月末 振込手数料：自己負担

◇申 込 下記 HP からお申し込み下さい。メールでの申し込み不可。
業務研 HP <https://sites.google.com/site/gyoumuken/>

越知 渉 (おち わたる)

- <生年月日、出身地> 1975年12月26日生、大阪府大阪市出身
- <学歴> 1998年3月 関西大学 法学部法律学科 卒業
2015年9月 慶應義塾大学 経済学部 卒業
- <職歴> 1998年4月財務省近畿財務局に入省、近畿財務局及び金融庁において、金融機関が自ら抱えるリスク(市場リスク、信用リスクなど)に対して、適切な管理態勢を備えているかについての評価に関する立入検査や上場会社のディスクロージャー書類の適法性審査など金融システムの安定化の業務に従事。
これらのほか政府統計や企業の経営分析結果に基づく、近畿圏内の地域経済動向調査や国有財産の管理処分業務などにも従事。
2020年7月からは、民間企業にて上場会社のディスクロージャーに係るコンサルティング業務に従事。
- <専門分野> 企業や地方公共団体の経営分析、リスク管理態勢及び内部統制の評価
- <所属団体> 日本技術士会(近畿本部、経営工学部会、農林水産部会)、兵庫県行政書士会、日本海事代理士会
- <資格> 技術士(経営工学)、行政書士、海事代理士、公認内部監査人
システム監査技術者(情報処理技術者試験)、土地改良換地士
宅地建物取引士、測量士補
- <趣味> 土地や建物の登記簿から個々の不動産の歴史を見ること、不動産投資

千原 易 (ちはら おさむ)

- ・昭和46年 兵庫県伊丹市生まれ
- ・昭和53年～ 兵庫県尼崎市
大阪大学大学院 材料開発工学専攻(当時) ステンレス鋼表面の不働態皮膜分析
- ・平成9年～ 茨城県鹿嶋市
住友金属工業(株) 鹿島製鉄所(当時) ステンレス鋼板の製造技術改善
- ・平成14年～ 新潟県上越市
住友金属直江津(当時) 薄板チタン材の製造技術改善
- ・平成17年～現在 和歌山県和歌山市
日鉄テクノロジー(株) 関西事業所
- ・令和元年5月 技術士(金属部門)登録

以上